

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月13日

高知県知事 殿



提出者

住 所 高知県四万十市古津賀2丁目6番地

氏 名 豚座建設株式会社

代表取締役 佐田憲昭

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0880-34-6031

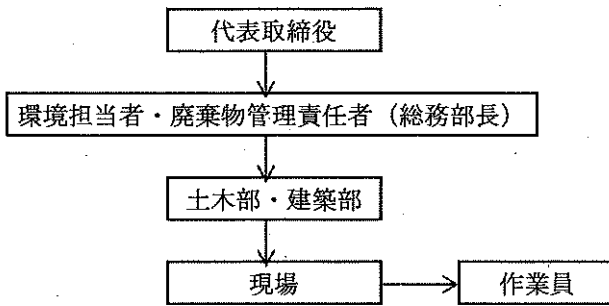
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	令和6年～7年度中村維持工事（他3件）
事業場の所在地	高知県幡多郡黒潮町以西
計画期間	2025/4/1～2026/3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	建設業：元請完成工事高 3,140,541,837 円（令和6年 7月）
③従業員数	70人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	○建設工事で発生したがれき類は、自社または再生処理業者に委託し再生砕石として再利用される。 ○建設工事で発生した木くず、金属くず及び廃プラスチック類は、再生処理業者に委託し、再生可能なものは再資源化を行い、再生不能な物は減量して最終処分場へ再委託される。

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】単位 t（トン）										1447.95
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合	木屑	繊維・紙屑	排油	廃プラ	汚泥	ガラス屑等	金属屑	
	排出量	891.74	39.57	407.25	6.09	1.17	14.28	0.11	86.38	1.36	
（これまでに実施した取組） 従業員を対象に廃棄物の適正処理に係る教育を行っています。建設資材の長期使用、修理等を行い廃棄物の排出を抑制しています。											
②計画	【目標】										935
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合	木屑	繊維・紙屑	排油	廃プラ	汚泥	ガラス屑等	金属屑	
	排出量	800	20	50	1	1	10	1	50	2	
（今後実施する予定の取組） 受注工事により随時変更に対応する。											

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 生活系ごみは一般廃棄物として持ち帰りを指示している。木屑は再生利用または燃料として再利用できるように処理している。コン殻は木屑等が混入しないように分別。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取り組みのとおり今年度も実施予定です。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) 実績なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合	木屑	汚泥	排油	廃プラ		ガラス屑等	金属屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		0 t
(これまでに実施した取組)										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合	木屑	汚泥	排油	廃プラ	汚泥	ガラス屑等	金属屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合	木屑	繊維・紙屑	排油	廃プラ	汚泥	ガラス屑等	金属屑
	全処理委託量	891.74 t	39.57 t	407.25 t	6.09 t	1.17 t	14.28 t	0.11 t	86.38 t	1.36 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	39.57 t	407.25 t	6.09 t	t	14.28 t	0.11 t	86.38 t	t
	再生利用業者への処理委託量	891.74 t				t	t	t	t	1.36 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t				1.17		t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t						t	t	t
(これまでに実施した取組)										

		【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合	木屑	繊維	排油	汚泥	廃プラ	ガラス屑等
②計画	全処理委託量	800 t	20 t	50 t	1 t	1 t	1 t	10 t	50 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	20 t	50 t	1 t	t	1 t	10 t	50 t	2 t
	再生利用業者への処理委託量	600 t	t	t	t	t		t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	1 t		t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t		t	t	t
	(今後実施する予定の取組)									
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。